

化学部

主な業務は、廃棄物、土砂等に関する試験検査及び調査研究である。令和6年度に実施した試験検査等は1,146検体、4,961項目で、その内訳は表1のとおりである。

表1 令和6年度試験検査実施状況

区 分	行政検査		調査研究		精度管理		合 計	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
一般廃棄物関係								
産業廃棄物関係								
処分場浸透水、排水	34	323					34	323
処分場周辺地下水、井水	44	1,047			342	687	386	1,734
河川水、環境水	29	628					29	628
廃棄物等			323	1,207			323	1,207
その他								
事故関係								
土砂関係								
放射能関係								
廃液排出								
その他					374	1,069	374	1,069
合計	107	1,998	323	1,207	716	1,756	1,146	4,961

1 試験検査

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、栃木県廃棄物処理に関する指導要綱等に基づく検査や、調査研究に係る試験を実施した。

1.1 廃棄物関係

産業廃棄物最終処分場等の浸透水、周辺井戸水及び環境水等や、後述の廃プラスチック類に係る調査研究について430検体、3,205項目（うち、後述の「2.1 連携プラットフォームを活用した環境流出プラスチックごみの発生抑制に資する研究」分は、323検体、1,207項目）の検査等を実施した。

2 調査研究

2.1 連携プラットフォームを活用した環境流出プラスチックごみの発生抑制に資する研究

国立研究開発法人国立環境研究所と地方環境研究機関（令和6年度：32自治体）との共同研究である「Ⅱ型共同研究」に、令和6年度から3年計画で参画している。

3 精度管理

3.1 精度管理

分析精度の確認、向上及び信頼性の確保を図るため、行政検査における内部精度管理について342検体、687項目（うち、環境省環境測定分析統一精度管理調査は6検体、12項目）、行政検査試験法等の確認について374検体、1,069項目の試験等を実施した。

4 その他

4.1 試験等廃液の委託処理等に係る事務

県の試験研究機関等を対象に廃液保管や廃棄物データシート作成等について説明し、産業廃棄物処理業者に処理を委託した。

4.2 ダイオキシン類環境調査委託業務に係る検査

県が委託により実施した標記調査について、環境保全課の依頼により試料採取及び分析等精度に係る検査を実施した。